

【第43号】

平成29年 3月29日

相双建設事務所

復旧復興だより



事務所イメージキャラクター

(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆原釜尾浜地区防災緑地(相馬市)で植樹祭を実施。

相馬市沿岸部に整備中の「原釜尾浜地区防災緑地」は約6mの高さまで盛土し、クロマツやドングリ等を植えることで海岸堤防などとともに津波に対して防災機能を発揮するものであり、平成32年3月の完成を目指し整備しています。

防災緑地は、平常時においてはレクリエーションや自然とのふれあいの場(公園)として活用するもので、防災緑地の利活用と管理運営策などについて広く皆さまに考えていただくきっかけづくりの一環として、3月18日(土)に「SOMA浜フェス2017」を開催しました。(今回は2回目の開催)

イベント当日は約260名の方々が参加し、原釜尾浜地区防災緑地で初めて、クロマツなどの苗木約2,500本を植樹していただきました。また、地元小学生による「原釜太鼓演舞」が行われたほか、地元海産物を使った「浜焼き、浜汁」を振る舞うなど、大いに盛り上がりました。

引き続き、残る工事を着実に進め、一日も早い原釜尾浜地区防災緑地の完成を目指します。



植樹作業の様子

地元海産物の浜焼き

SOMA浜フェス2017植樹祭に参加された方々の声

〔財〕三菱UFJ環境財団 依田さん

原釜尾浜地区防災緑地の植樹活動に参加できて感激しています。好天の中、皆さんと一緒に食べた地元海産物の浜焼きがおいしかったです。

SOMA浜フェス2017植樹祭を準備された方々に感謝いたします。

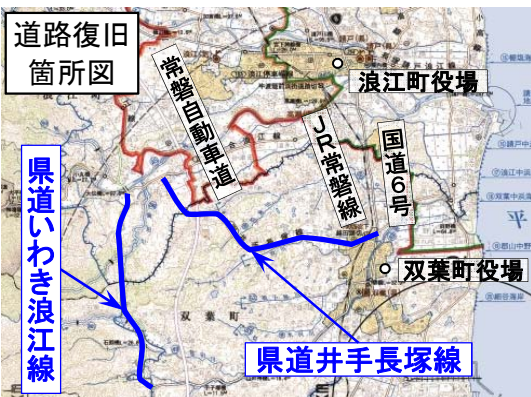


植樹した苗木

◆帰還困難区域の主要道路の復旧工事(浪江町、双葉町)が完成。

当事務所では、震災で被災した帰還困難区域(浪江町、双葉町)の道路復旧を進めており、このたび主要な県道(いわき浪江線、井手長塚線)について、全ての箇所でも工事を完成することができました。

今回の完成によって、避難されている方々の一時立ち入りがより円滑になるほか、各町が計画している復興拠点の整備などがさらに前進することが期待されます。〔復旧箇所：県道いわき浪江線＝国道288号～落合浪江線、県道井手長塚線＝落合浪江線～国道6号〕(※帰還困難区域内の通行には事前の許可が必要です。)



県道いわき浪江線の復旧状況

県道井手長塚線の復旧状況

◆県営復興公営住宅・牛越団地(南相馬市原町区)の入居を開始。

当事務所では、南相馬市内と広野町内において、原子力災害による避難者のための県営復興公営住宅を985戸整備する計画です。このうち、南相馬市原町区の牛越団地(第1工区)60戸が完成し、3月15日(水)に入居者への鍵引渡し式を行いました。これにより、既に入居を開始している北原、南町、上町および西町団地とあわせ、今年度予定分の計811戸が整備されました。

牛越団地は、鉄筋コンクリート造(PC造)4階建てで、団地内に緑地を確保するなど周辺の環境との調和を図るとともに、バリアフリー仕様や太陽光発電による環境負荷の低減にも努めています。

残る174戸についても、平成29年度中の完成を目指し、引き続き、着実に工事を進めます。



鍵引渡し式の様子



入居者代表の方へ鍵を引渡し



住宅の外観



部屋内の様子

◆村上地区海岸(南相馬市小高区)の堤防工事が完成。

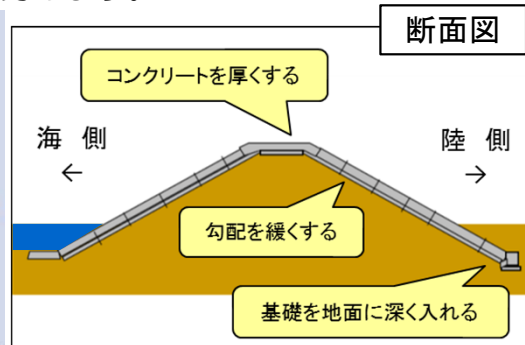
当事務所では、震災の津波で被災した海岸堤防約21.4km(新地町~双葉町)を復旧しており、このたび、南相馬市小高区の村上地区海岸(約0.6km)が完成しました。

数十年~百数十年の頻度で発生する津波などに対応できるように、堤防を震災前から1m高くするとともに、コンクリートを厚くするなど、津波に対して粘り強い構造にしています。

残る箇所についても(16.2km)、一日も早く堤防工事を完成させ、災害に強く、安全・安心の向上につながる生活環境の整備に努めます。



村上地区海岸
約0.6km



断面図

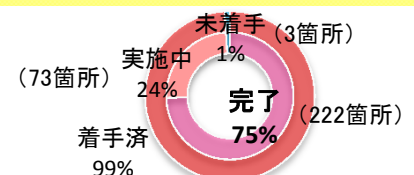


堤防の復旧状況

◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況(平成29年2月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)



○次回は、「相馬福島道路のアクセス整備状況」をお伝えする予定です。
(事業の進捗状況等により変更する場合があります)

